



校長先生からの夏休みの宿題

校長 小宮俊彦

猛暑日の日数が例年以上に多い夏でしたが、来週からは、ようやく少しずつですが秋の気配を感じる気候となりそうです。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

夏休みを終えた子どもたちは、元気に登校し、学習や友達との関わりの中で、それぞれの成長を見せててくれています。「やさしい心とやさしい言葉で自分が好きになれるよう、夏休み中は過ごしましょう」という課題を校長先生からの夏休みの宿題として出しました。お子さんの44日間はいかがだったでしょうか。子供の成長には何より自己肯定感を高めることが、大きな効果をもたらします。失敗から学ぶと昔からよく言われますが、そのときにどんな言葉をかけるかが大事だと思います。子供はつまずきながら学び、前に進んでいくことを忘れず、私たち教師は子供たちの教育に当たっています。この姿勢はこれからも忘れずに取り組んでいきたいと思います。

9月は「学びの秋」「読書の秋」とも言われるように、じっくりと腰を据えて学習に取り組むのにふさわしい時期です。学校では、一人ひとりの興味や関心を大切にしながら、主体的に学ぶ力を育んでまいります。

また、季節の変わり目は体調を崩しやすく、朝晩の涼しさから風邪をひきやすい時期でもあります。規則正しい生活リズムを整え、健康に過ごすことが、学習意欲や学校生活の充実にもつながります。ご家庭と学校とが連携し、子どもたちが安心して学びに向かえる環境を整えていきたいと考えております。

実りの秋にふさわしく、子どもたちの学びや心の成長が一層深まるよう、教職員一同で努めてまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

9月の生活目標 「時刻を守って行動しよう」

※学年・学級の実態に合わせて、児童一人一人が自分の課題として取り組めるよう、具体的な目標を設定して取り組みます。